

2016年10月1日  
52号

# かけはし

ひたちなか総合病院広報誌

発行所 株式会社製作所ひたちなか総合病院  
〒312-0057  
ひたちなか市石川町20番1  
TEL 029 (354) 5111  
発行人 飯嶋和秀  
編集 広報委員会  
<http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html>

## 【ひたちなか総合病院理念】

「地域を護る病院」として説明責任を基本とした最新の技術とサービスを提供し患者さんが納得・満足される医療を遂行する

## 【ひたちなか総合病院基本方針】

「地域の皆さまの信頼と満足が私たちの生きがいです」のもとに、①急性期から回復期までの一貫した医療を充実させて地域完結型医療を推進する②教育・研修を充実させて最新の医療技術を確立し、職員満足を向上する③説明責任と最良のサービスを遂行し、患者満足を向上する④質を基盤とした総合的医療の質経営を実施し、持続成長可能な病院にする を実践する。

## 【2016年度品質目標】

・地域医療構想・地域包括ケアシステムを検討・準備・実行する・マスタープランを含めた中期計画（2016～2018年度）を作成する・真因を極めPDCAを回すことを職員の業務の基本とする・医療安全対策の充実に基づく安全風土の醸成を図る・院内全体の課題とした各部署・分野の教育・研修態勢を確立する・データ管理に基づく質・安全・経営態勢を構築する・緩和ケアを含めたがん診療連携拠点病院機能を充実する・退院支援を含めた地域医療支援病院機能を充実する・財務諸表管理を含めた持続成長可能な病院運営する

## ごあいさつ

院長 永井庸次



今年は台風が異常であり、秋雨前線も長く停滞し、お過ごしにくい毎日ではないかと心配しておりますが、皆様方はいかがお過ごしでしょうか。当院も駐車場不足で皆様方に多大なご迷惑をおかけしておりましたが、

今回病院南側に新駐車場敷地を確保できましたので、10月以降には御利用可能になると思います。冬の混雑される季節に間に合い、ほっとしているところです。

本号が出ている頃には締切られていますが、現在、茨城県のホームページに地域医療構想の素案がパブリックコメントとして出ており、皆様方には是非お読みいただきたいと思っております。以前にも述べましたが、本構想は、県内の二次医療圏（当地域は常陸太田・ひたちなか二次医療圏に存在し、水戸と日立という二次医療圏に囲まれています）別に2025年（団塊の世代が全員75歳以上になる）のベッド必要数を2013年のデータを将来人口推計に基づき算出し、病床機能（高度急性期というICU・HCU病棟、急性期病棟、リハビリが必要な場合と必要としない場合がありますが、急性期医療の終了後、リハビリが必要、もしくは在宅・療養型病棟からの急変患者さん用の回復期・地域包括ケア病棟、さらに在宅を含めた慢療医療対応の慢性期病棟）別に提示するものです。このベッド数に基づき、2017年には茨城県は第七次医療計画、第七期介護保険事業計画を策定（両計画ともその後6年間変更がありません）し、2018年からこの両計画

と医療・介護の同時改定が実施されます。

私が危惧しますのは、40%前後の市民が入院・外来とも水戸地域に流出されている現状がそのまま追認され、その流出状況が2025年も持続するという前提で、地域医療構想、医療計画が進むということです。その前提で行けば、急性期のベッドは現在よりさらに大幅に減少し、その分回復期・地域包括ケアのベッドに転換し、在宅医療もさらに増加させる必要があります。しかし、高度急性期病棟は別にして、これからの高齢化社会の中で、急性期のベッドは今後、5疾病5事業（脳梗塞、急性心筋梗塞、がん、糖尿病、精神疾患、救急、災害、へき地、周産期、小児医療）に対応するためにも、地域である程度完結することが必要です。今後の地域の医師確保にもこの急性期医療を担う医療施設は必要です。急性期のベッドが確保できなくなると必然的に急性期医療を担う医師の確保も困難になり、回復期、慢性期のベッドを確保しても、急性期から移行するそれを担う医師がいなくなり、必然的にその地域の医療が崩壊するというシナリオが想定されます。

地域の医療を護るのは当院だけではありません。皆様方、行政の方々、さらに地域の医師会等の果たす役割が今まで以上に、それも早急に重要になってきます。沈黙していても世の中は変わりません。是非皆様方と一丸となって、この地域の医療、ひいては安心・安全を護っていくことが地域医療支援病院、災害拠点病院としての当院の使命と考えておりますので、今後ともご支援のほど、よろしく願いいたします。

なお、当院では助産師外来を開始しました。来年早々には院内助産で、震災後初めて当院出生のお子さんが生まれることとなりますので、助産師外来、院内助産につきましても皆様方のご支援をお願いしたいと思います。

## ひたちなか総合病院・総合健診センター休日のお知らせ

10月		11月		12月		1月																									
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日			
						①				1	2	3	4	⑤						1	2	③			①	②	③	④	5	6	⑦
②	3	4	5	6	7	⑧		⑥	7	8	9	10	11	⑫	④	5	6	7	8	9	⑩	1	⑧	9	10	11	12	13	⑭		
⑨	⑩	11	12	13	14	⑮		⑬	14	15	16	17	18	⑰	⑪	12	13	14	15	16	⑰	⑮	16	17	18	19	20	⑳			
⑯	17	18	19	20	21	⑳		㉒	21	22	23	24	25	㉔	⑱	19	20	21	22	㉓	㉔	㉒	23	24	25	26	27	㉘			
㉓	㉔	25	26	27	28	㉙		㉕	28	29	30	31			㉕	26	27	28	29	⑳	㉑	㉙	30	31							

■はひたちなか総合病院休日 ○は総合健診センター休日

## 乳房再建用エキスパンダー及びインプラント実施施設として認定

当院では、2016年9月より乳がん治療の一環として、乳がん術後の乳房再建を目的としたエキスパンダー及びインプラントを用いた乳房再建術（二次的再建）が保険適応で実施できる施設として、日本乳房オンコプラスチックサージャリー学会から認定されました。乳房再建を希望する方や乳房再建がどのようなものかなど、具体的な内容について、形成外科外来へお気軽にご相談ください。

【問合せ先】形成外科外来：029-354-5111（代表）



## 第13回がん市民公開セミナー開催

【日 時】10月31日（月）17：30～18：30

（受付開始17：00から）

【場 所】(株)日立製作所ひたちなか総合病院 2階講堂

【参加費】無料

【講演①】「見逃し乳がん撲滅！極小乳がん発見を目指して」  
(株)日立製作所ひたちなか総合病院 放射線技術科  
黒沼 真由美先生

【講演②】「乳がんに対する放射線治療アップデート」  
(株)日立製作所ひたちなか総合病院  
がん診療統括室 放射線治療センター長  
三橋 紀夫先生

【講演③】「過去5年間の胃がん・大腸がん治療実績」  
筑波大学大学院人間総合科学研究科  
疾患制御医学専攻 外科学教授  
筑波大学附属病院ひたちなか社会連携教育研究センター長  
教授 寺島 秀夫先生

【申込み・問合せ先】教育・研修センタ 029-354-6841

## オプション検診「ヘリコバクターピロリ血清抗体検査」のご案内

総合健診センターでは、2016年10月1日より、オプション検診「ヘリコバクターピロリ血清抗体検査」を開始致します。この検査は、血液中のピロリ菌の抗体を調べ、感染の有無を確認します。ピロリ菌は年齢が高いほど感染率が高く、60歳代では8割近くの方が感染していると言われてます。胃や十二指腸の病気の原因になる可能性が高いため、検査で陽性の方は治療適応となります。

胃や十二指腸潰瘍の経験のある方や再発をくりかえす方、胃がん家系で心配な方、胃炎の方、なんとなく胃の具合がいつも悪い方などは、ぜひこの機会に人間ドックとともに、お申込みください。

【検査料金】2,160円（税込）

【対象者】ピロリ菌の検査を受けたことがない方

【ご予約・問合せ先】フリーダイヤル：0120-55-6292

## インフルエンザ予防接種のお知らせ

10月からインフルエンザワクチンの予防接種を開始します。

### 1. 成人の方

【定期通院中で外来受診予定のある方】

10月24日（月）より外来受診時に予防接種が可能です。

予防接種をご希望の方は、主治医にご相談ください。

【定期通院中で外来受診予定の無い方】

予防接種外来（完全予約制）を開設します。詳細につきましては、

当院ホームページをご確認ください。

<http://www.hitachi.co.jp/hospital/hitachinaka/index.html>

予防接種をご希望の方は、電話にてご予約をお願いします。

(1) 予約開始日：10月3日（月）

(2) 予約方法

〈電話予約のみ〉029-354-5111（代）

〈受付日時〉平日 8：15～16：30

### 2. 小児の方

小児の予防接種は「完全予約制」です。予防接種をご希望の場合は、電話にてご予約をお願いします。

(1) 予約開始日：10月11日（火）

(2) 予約方法

〈電話予約のみ〉029-354-5111（代）

〈受付日時〉月・火曜日 15：00～16：00

金曜日 15：30～16：30

### 3. 接種料金

(13歳以上) 4,500円/回 (13歳未満) 4,000円/回

### 4. その他

- ・予約につきましては、上記時間帯以外は予約をお受け出来ませんので予めご了承ください（時間外、休日・祝日は予約不可）。
- ・予防接種の際に必要な書類（予診票等）がある場合は、事前に必要事項をご記入の上、予防接種当日ご持参下さい。
- ・接種料金につきましては、市町村より配布された「インフルエンザ予防接種予診票」をご提出された方のみ、助成金適用額での接種が可能です。

## 「スリング教室」開催

スリングとは、一枚の布で赤ちゃんを心地よく抱っこする道具です。スリングを使うことで、赤ちゃんはお母さんと密着するため安心し、自然で楽な姿勢を保てるので、丸みのある赤ちゃんの身体に負担をかけません。スリングの基礎知識や、いろいろな使い方など、ワンポイントアドバイスが受けられますので、ぜひ、赤ちゃんと一緒にご参加ください。

【日 時】11月12日（土）10：00～11：00

【場 所】小児科外来前

【定 員】10名

【費 用】無料

【持ち物】スリング（お持ちのものがあれば）

【申込み・問合せ先】産婦人科外来：029-354-5111（代表）

## 医師異動の紹介

診療科	氏 名	異 動 日
臨床研修医	岡 本 翔 太	退職 (2016. 7. 31)
	奥 脇 駿	退職 (2016. 7. 31)
	清 水 知 明	採用 (2016. 8. 1)
	徳 村 和 彦	退職 (2016. 8. 31)
	清 水 知 明	退職 (2016. 9. 30)
	山 川 地	採用 (2016. 10. 1)